

企業が実施した長時間労働削減のための自主的な取組事例

(都道府県労働局長がキャンペーン期間中に訪問した企業の長時間労働削減に向けた積極的な取組事例)

事例 1 (業種：教育・研究業) (労働者数：約2,000名)

会社の取組

○時間外労働削減に向けた取組

- ・ トップの決意表明
→ 分かりやすいスローガンの設定、朝礼などにおけるトップの強い意志の発信
- ・ フレックスタイム制の導入
- ・ 業務の簡素化、システムの自動化
→ 無駄と思われるものは止めてみる、各部門の責任者へ委譲する権限の見直し

○年次有給休暇の取得促進に向けた取組

- ・ 時間単位年休（時間休）の導入

○働きやすい環境づくりのための取組

- ・ トップに対し、直接改善提案を行える制度の導入
- ・ 法定日数を超える介護休業の付与
- ・ ベビーシッター費用補助

取組の結果

- フレックスタイム制の導入などにより、導入前に比べ時間外労働が約25%減少
- 一人当たりの生産性が、4年前に比べて1.5倍に向上
- トップへの改善提案制度の導入により、職場環境が短期間で改善

事例 2 (業種：製造業) (労働者数：約70名)

会社の取組

○時間外労働の削減に向けた取組

- ・ 月2回の「ノー残業デー」の実施（毎週1回とすることを検討中）
→ 予定表（ホワイトボード）への表記や朝礼での周知徹底
- ・ 時間外労働を行う際の手続きの見直し
→ 管理職が必要性を見極めた上で、時間外労働を命じることの徹底
- ・ 労働者の多能化によるワークシェアの実施

○年次有給休暇の取得促進に向けた取組

- ・ 年次有給休暇を活用した「バースデー休暇」制度の導入

○働きやすい環境づくりのための取組

- ・ 労働者から職場環境の改善に関する提案を受け付け（無記名可）、その全てに回答

取組の結果

- 月の時間外労働時間が、多い月で前年比約15%減少
- 年次有給休暇の取得率が、前年比約18%増加
- 職場環境改善提案がしやすい、風通しのいい環境の形成